OP-C30形　　オペレーションユニット

取扱説明書

安全にお使いいただくために

ご使用の前に

- ご使用の前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定されるよび物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

2006-03-9498249 1/35 SI
OP-C30

警告

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧（交流１００ボルト）以外の電圧で使用しないで下さい。

火災・感電の原因となります。

■異常なときは使わない

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、煙が出なくなることを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■電源コードに傷をつけない

電源コードに傷をつけたり、加工したり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

■電源コードが傷んだら交換する

電源コードの芯線が露出したり、断線したときは交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■発火や引火の危険性がある場所に設置しない

ガスなどが充満した場所に設置すると、火災の原因となります。

■分解したり、異物を入れない

ケースを開けて内部に触れたり、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。火災・感電の原因となります。

■改造しない

この機器を改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

2006-03-9498249 2/35 SI
OPC-30

⚠ 警告

■落下するおそれのある場所に設置しない
もろい材質の天井板（および壁面）に設置しないでください。
落下してけがの原因となります。

■水にぬらさない
水にぬらすと火災・感電の原因となります。万一内部に水が入った場合はご使用を中止し、電源を切ってからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない
取付部が劣化して落下などの事故の原因となります。

■ねじや固定機構はしっかり締め付ける
締め付けがゆるむと落下などでけがの原因となります。

■振動、衝撃のある場所では使用しない
落下してけがの原因となります。

2006-03-9498249 3/35 SI
OPC-30

警告

■アースをとって使用する

2線式電源コードを使用しています。必ず本体のＦＧ
端子を安全アース用端子に接続した上でご使用下さい。
アースされていないと感電の原因になります。

2006-03-9498249 4/35 SI
OPC-30

⚠ 注意

■湿気やほこりの多い場所に設置しない
火災･感電の原因となることがあります。

■温度･湿度については、使用環境で定めてある範囲で使用する
この機器の設置環境は使用環境で定めてある範囲で使用してください。内部の温度･湿度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

■この機器の上にものを置かない
バランスがくずれたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■振動や衝撃の加わるところには置かない
この機器に振動や衝撃が加わると、火災や故障の原因となることがあります。

■引火性ガス、腐食性ガスのあたるところには置かない
この機器の周囲に引火性ガスや腐食性ガスがあると、火災の原因となることがあります。

■保守点検について
保守点検を販売店にご相談下さい。機器内部にほこりがたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、保守点検の費用については販売店にご相談ください。

■上に乗らない
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

2006-03-9498249 5/35 SI
OPC-30

１．はじめに

OP-C30形オペレーションユニットは電動ドーム型雲台カメラHC-350用の普及型の卓上オペレーションユニットで、1CHのドームカメラを接続できます。各入力は同軸ケーブルに重畳した制御信号により、カメラの水平、垂直及びレンズのズームやフォーカス、あらかじめ記憶させた監視場所へ移動させるプリセット操作が可能となります。

4ｃｈ増設ユニットP-AU30と組合せることで､4ｃｈから最大16ｃｈまでカメラを増設制御可能となります。

２．特　長

（1）同軸多重制御の電動ドーム型カメラや一体型雲台カメラのプリセット操作や設定ができます。また、ジョイスティックにより見たい方向にカメラを制御できます。

（2）モニター出力上の OSD（文字表示）でカメラの設定やプリセット番号の設定が確認できます。

（3）増設ユニット P-AU30 と組み合わせることにより最大 16 台のカメラを選択制御することできます。

３．構　成

（1）本　体

（2）ヒューズ

（3）取扱説明書

2006-03-9498249 6/35 SI
OPC-30

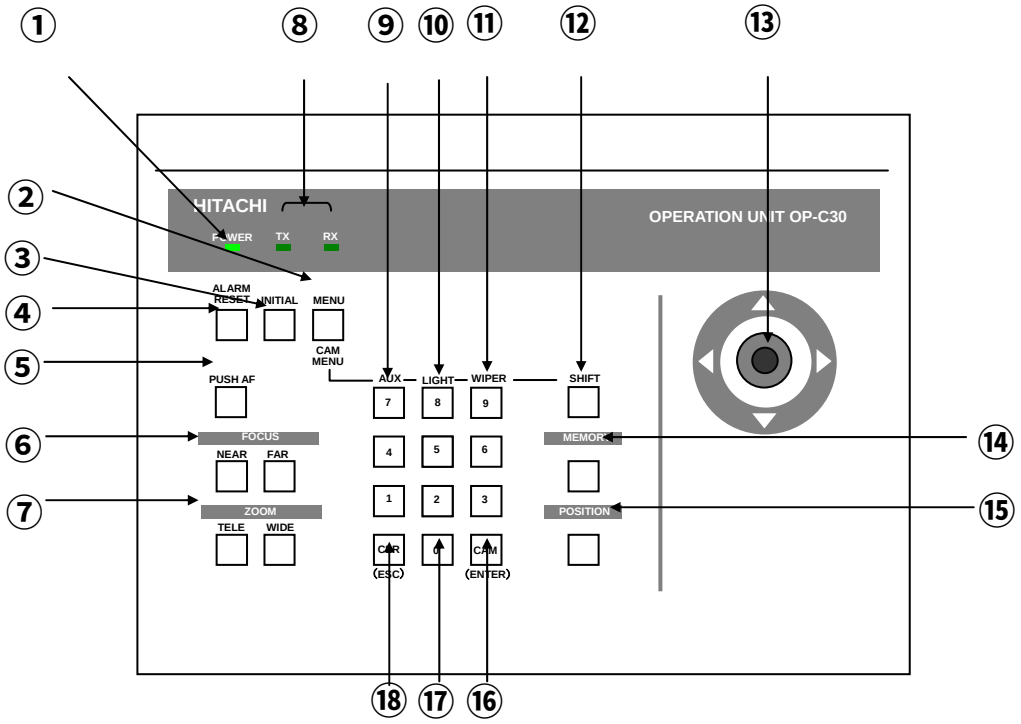
ご使用上の注意

・初めてカメラを接続するときは6.2.2.OSDメニューのカメラSETTINGを実行し使用カメラの機種、カメラスピードの設定を必ず行なってください。設定が合っていないとカメラが旋回しないなど正常に操作できないがことがあります。

・落雷、誘導雷等の影響を受ける恐れのあるシステムでご使用になる場合、機器の損傷を防ぐためにシステム全体として、避雷器等での保護を行なってください。

４．各部の名称と働き

（1）操　作　部



2006-03-9498249 7/35 SI
OPC-30

① 電源表示LED

POWER

電源投入時点灯します。

② メニューキー

MENU

CAMERA MENU

SHIFT

本キーを押すとモニター出力画面にOP-C30の設定メニューを表示します。解除するにはもう一度MENUキーを押します。
SHIFTキーと組み合わせると接続したカメラの設定メニューを表示します。
解除するにはカメラの設定メニュー上でEND等の終了メニューを設定し、もう一度MENUキーとSHIFTキーを押します。

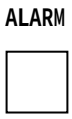
③ イニシャルキー

INITIAL

接続された電動ドームカメラ（HC-350他）や一体型雲台カメラ（HC-210A）の雲台部初期化を実行します。
本キーを押すと緑色が点灯し、初期化が終了すると消灯します。イニシャル動作中、他の操作はできません。

2006-03-9498249 8/35 SI
OPC-30

④ アラーム解除キー

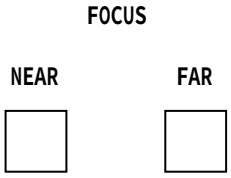


アラームが発生すると本キーが速く点滅します。アラーム発生時に本キーを押すとアラームの解除が出来ます。
タイマーによる自動解除モードに設定している場合は、設定時間を過ぎるとLEDは点滅から点灯に変わり、カメラはホームポジションに自動復帰します。LEDの点灯を解除する時も本キーを押します。
また、本キーを５秒以上押すとアラーム抑止モードとなり、全てのセンサー入力を無効にすることが出来ます。誤作動時など一時的にアラームを無効にしたい場合などに使用します。抑止モードではLEDがゆっくり点滅します。再度本キーを押すことでアラーム抑止モードを解除できます。

⑤ オートフォーカススイッチ

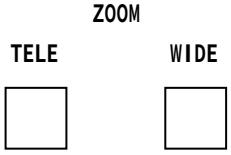
接続された電動ドームカメラ（HC-350他）や一体型雲台カメラ（HC-210A）のオートフォーカスを動作させます。本スイッチを押すと、自動的にフォーカスを合わせます。

⑥ フォーカススイッチ



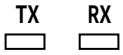
電動レンズのフォーカス操作を行ないます。NEARスイッチを押している間、近くに焦点が合うように動作します。FARスイッチを押している間、遠くに焦点が合うように動作します。

⑦ ズームスイッチ



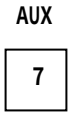
電動ズーム操作を行ないます。
TELEスイッチを押している間、望遠側に動作します。
WIDEスイッチを押している間、広角側に動作します。

⑧ 通信表示LED



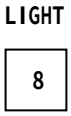
電動ドームカメラとの通信状況により点滅します。

⑨ テンキー７（外部機器制御スイッチ）



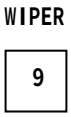
通常はテンキーとして動作します。
SHIFTキーを押して、本キーを押すと対応したカメラの外部機器を動作させます。
標準ではサポートしておりません。

⑩ テンキー８（照明スイッチ）



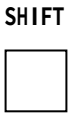
通常はテンキーとして動作します。
SHIFTキーを押して、本キーを押すと選択されたカメラの照明を点灯させます。
再びSHIFTキーを押した状態で、本キーを押すと消灯させることができます。

⑪ テンキー９（ワイパースイッチ）



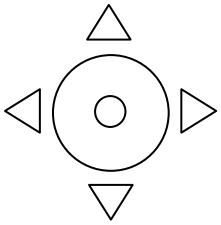
通常はテンキーとして動作します。
SHIFTキーを押して、本キーを押すと選択されたカメラのワイパーを動作させます。

⑫ シフトキー



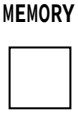
本キーを押すとLEDが点灯しシフトモードとなり、MENU、7、8、9キーに別機能を持たせます。もう一度押すことによりシフトモードを解除することができます。

⑬ ジョイスティック



通常の使用時は電動雲台部の操作ができます。
倒す方向に合わせてカメラの方向が上下、左右に動作します。
メニュー設定時は項目の設定に使用します。
②のメニューキーを押し、メニュー表示に従い上下、左右に倒してメニューの選択に使用します。

⑭ プリセットメモリースイッチ



接続されたドーム型雲台カメラHC-350他の上下、左右、ズーム、フォーカスの位置をプリセット番号に登録します。数秒LEDが点滅し、点滅が終了します。消灯した時点で登録が完了します。

2006-03-9498249 9/35 SI
OPC-30

⑮　プリセットポジションスイッチ

POSITION

接続されたドーム型雲台カメラHC-350他のプリセット制御を行います。
⑰テンキーでプリセット番号を入力し、本スイッチを押すと登録された位置にカメラが旋回します。

⑯カメラ/エンターキー

CAM
（**ENTER**）

増設ユニットP-AU30と組み合わせたときにカメラを選択します。⑰テンキーでカメラ番号を入力し、本スイッチを押すとP-AU30のモニター出力に選択されたカメラの映像を出力します。
メニュー設定時の項目のエンターキーとなり、設定、登録に使用します。

⑰テンキー

0 ～ **9**

プリセット番号やカメラ番号の入力に使用します。

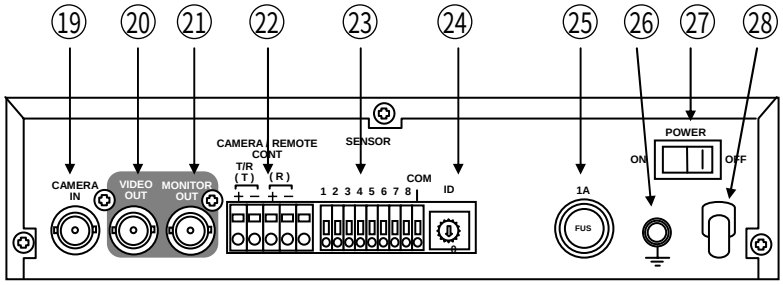
⑱クリア/エスケープキー

CLR
（**ESC**）

⑰テンキーの入力をクリアします。
メニュー設定時の項目のエスケープキーとなり、訂正、戻りなどに使用します。

2006-03-9498249 10/35 SI
OPC-30

（2）背　面　部



⑲ カメラ入力コネクタ

CAMERA IN

電動ドームカメラ(HC-350 他）や一体型雲台カメラ(HC-210A他)の映像信号をＢＮＣコネクタで接続します。固定タイプのカメラも接続可能です。

⑳　ビデオ出力コネクタ

VIDEO OUT

カメラ映像信号出力コネクターで画面上のOSD（文字表示）は有りません。映像切替器その他システムに接続します。

㉑　モニター出力コネクタ

MONITOR OUT

モニター出力です。カメラ番号やプリセット番号、本体の設定メニューのOSDがあり、管理用のモニターに接続します。

㉒ カメラ制御/リモート制御端子

CAMERA/REMOTE CONT

シリアルカメラ制御と増設ユニットとの通信に使用します。
シリアル制御接続でカメラを接続したいときはRS-485の2線/4線式に対応したカメラを制御可能です。
増設ユニットP-AU30との通信用の接続ではRS-485の2線式となります。

㉓　センサー入力端子

SENSOR
1 - 8

アラーム用のセンサー入力端子です。フォトカップラを使用した入力ポートが8ポートあり、COMと各端子間を短絡するとアラームが発生します。
ポート８のみ内部スイッチの切換えにより、アラーム発生を出力するオープンコレクタ出力ポートに設定できます。

2006-03-9498249 11/35 SI
OPC-30

㉔ ID設定スイッチ

ID 1 – F

OP-C30は‘ 0 ’に設定してください。

㉕ ヒューズホルダ

1A

本機の電源ヒューズです。
必ず定格のヒューズを使用して下さい。

㉖ アース端子

接地して下さい。

㉗ 電源スイッチ

POWER

本ユニットの電源をON/OFFします。

㉘ 電源コード

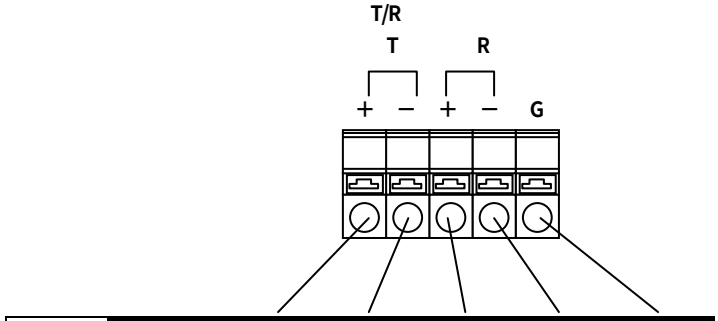
商用電源AC100V 50/60Hzに接続します。

2006-03-9498249 12/35 SI
OPC-30

（4）コネクタの説明

(a) CAMERA/REMOTE CONT端子

内部スイッチ設定によりインタフェース、信号名が変わります。

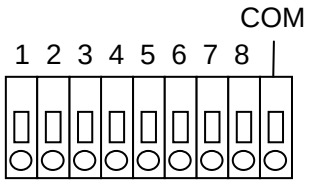


RS-485	2線式*1	T/R+	T/R -	T/R+	T/R -	GND
	4線式	T+	T -	R+	R -	GND

***1：太枠は出荷時設定**

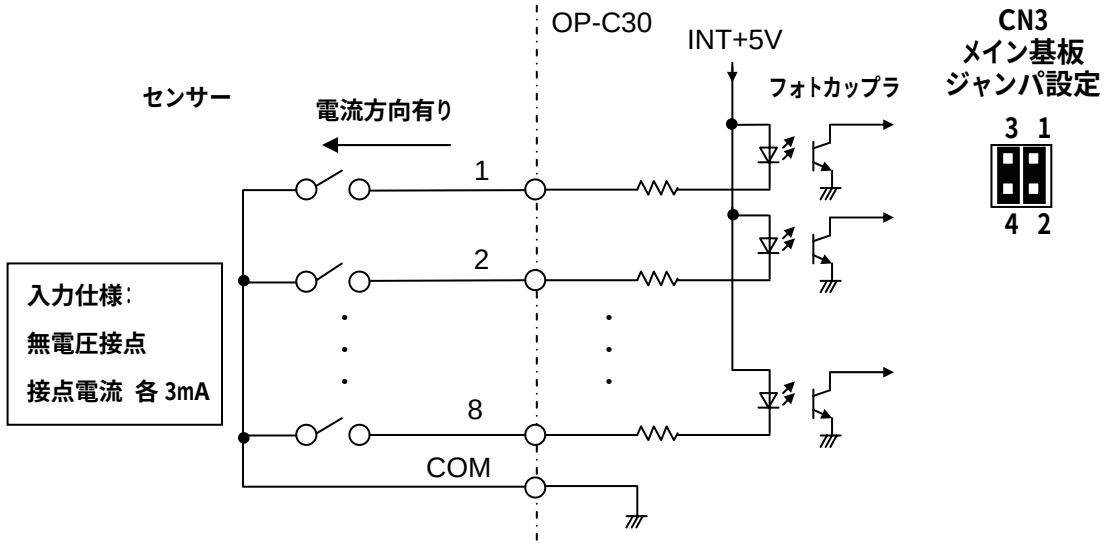
(b) SENSOR 端子

SENSOR入力端子はOP-C30のアラーム機能使用時のセンサーを接続して使用します。



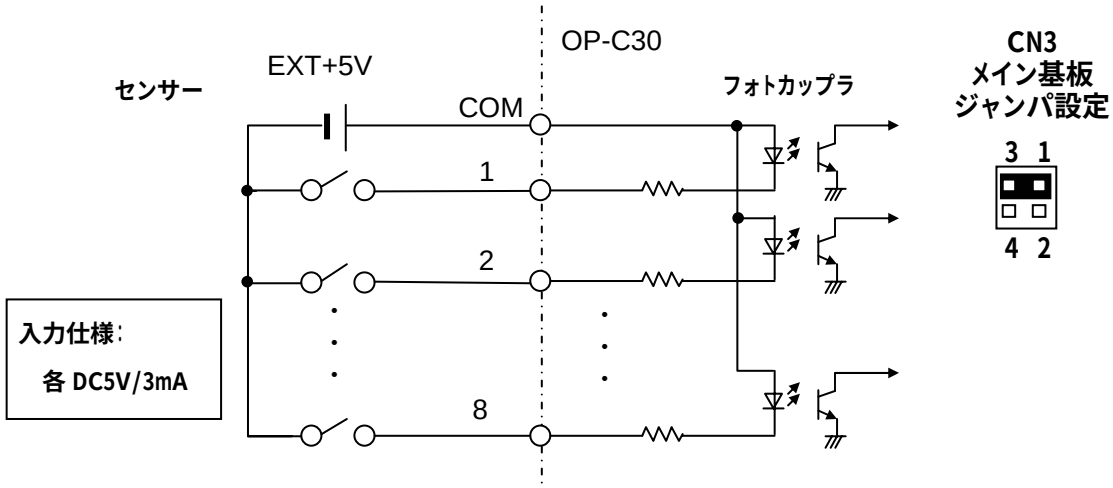
① 内部5V供給設定（工場出荷設定）

工場出荷時は下図のように内部の5V電源をフォトダイオードに供給しますので外部に1～8の各端子からCOMに向かって短絡するとセンサーがONとなります。



② 外部5V供給設定

下図のように内部基板上のジャンパコネクタCN2のジャンパを設定し直すと外部の5V電源からフォトダイオード駆動することが可能で、電気的に分離したい場合有効です。外部に1～8の各端子とCOM端子間に5V電圧をかけるとセンサーがONとなります。



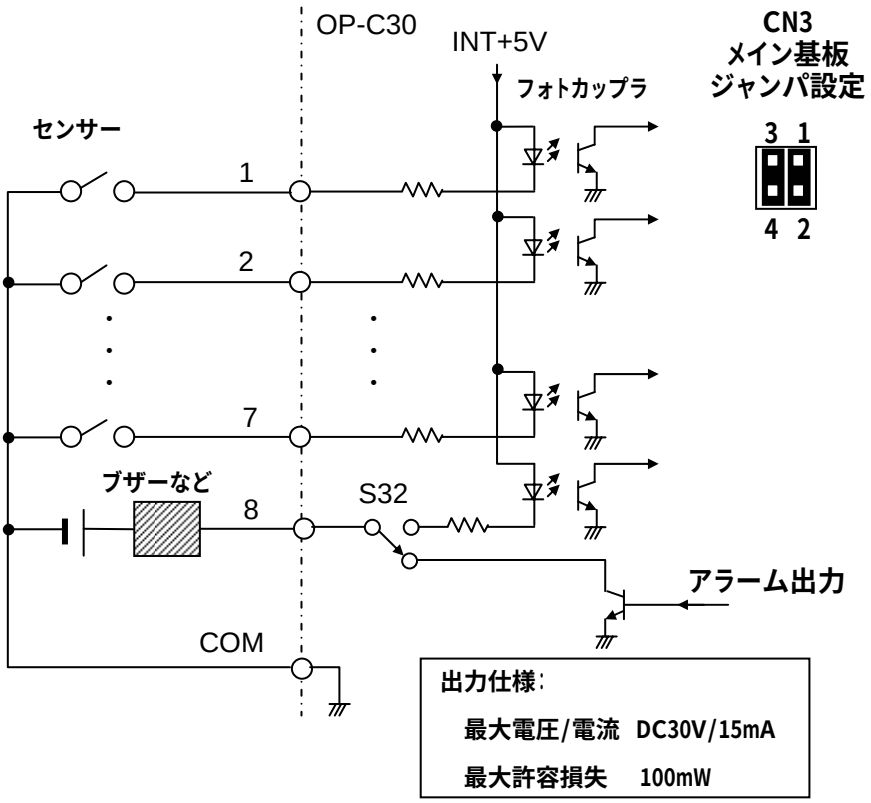
2006-03-9498249 13/35 SI
OPC-30

③ センサーポート８の出力設定

センサーポートの8番は内部スイッチS32の設定を切り換えることでオープンコレクタの出力　　ポートに設定可能です。アラーム発報時、ONとなりブザー等の制御が可能です。この場合センサー入力8は無視され、メニュー内で設定しても無視されますのでご注意ください。

出力ポートONの操作パネル上のALARM RESETスイッチを押すとOFFに解除します。

COM 端子をアース電位GNDと使用するので①の内部5V供給設定のみ使用可能です。

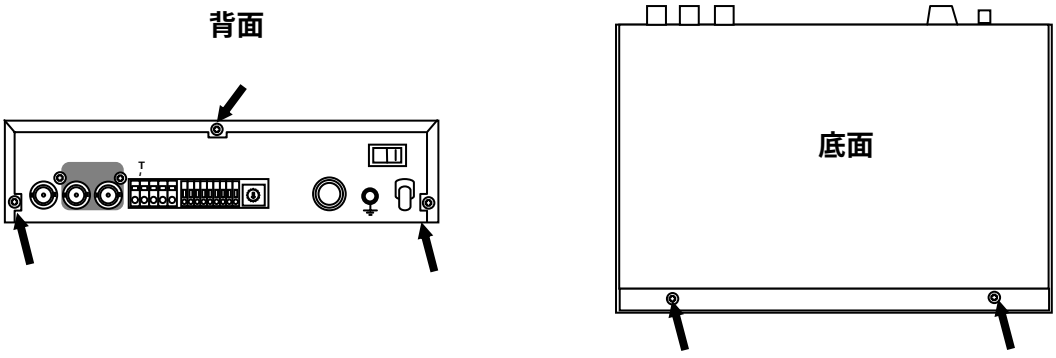


2006-03-9498249 14/35 SI
OPC-30

（3）メイン基板上のスイッチやジャンパーの説明

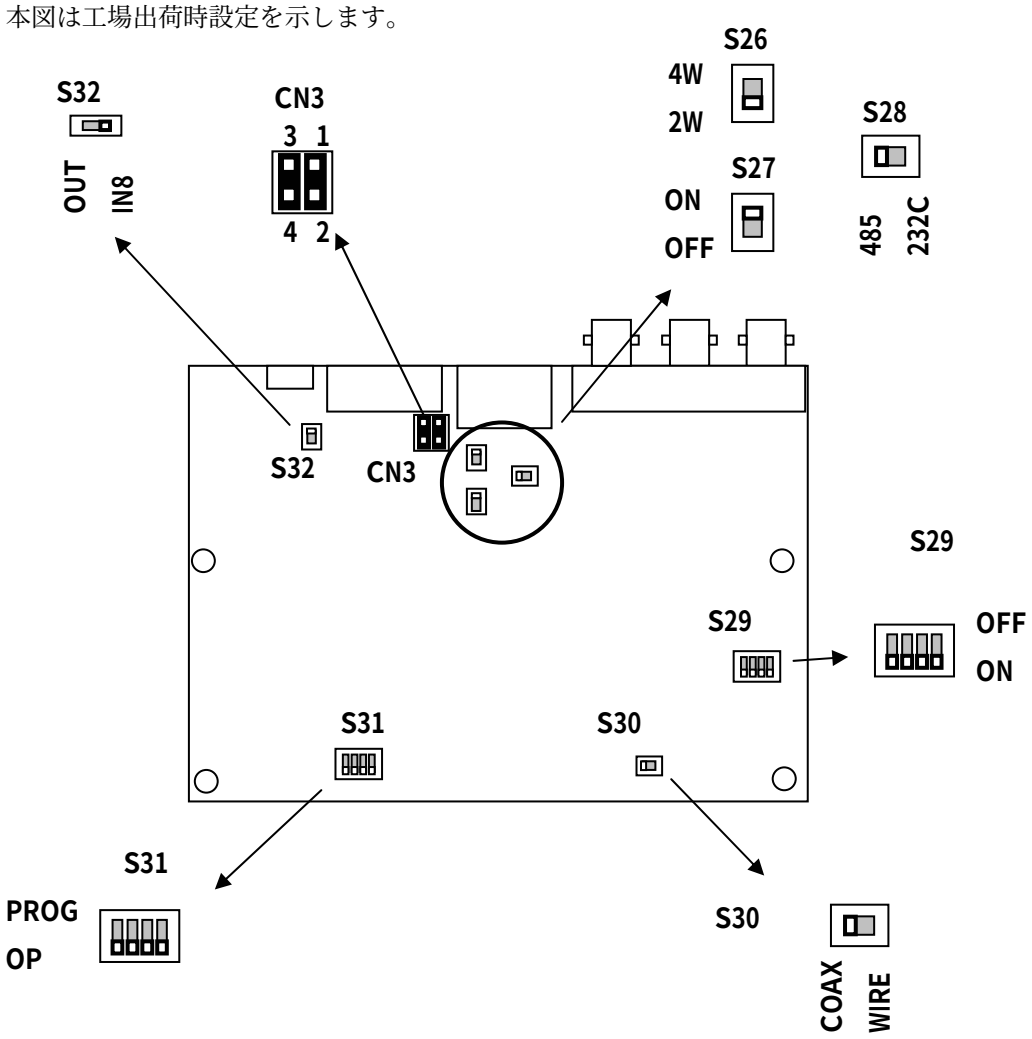
(a) カバーの開け方

メイン基板上のスイッチを設定するには、背面の3箇所、底面の2箇所のビスを外すことでカバーを取ることができます。



（b）メイン基板上のスイッチ

本図は工場出荷時設定を示します。

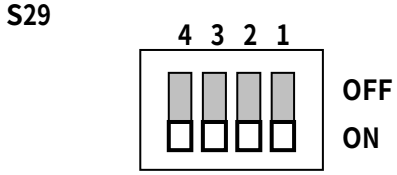


2006-03-9498249 15/35 SI
OPC-30

S30	カメラ制御方式の選択　（同軸多重方式またはシリアル通信方式）
S28	シリアル通信方式のインタフェースの選択
S26	RS-485において2線式か4線式かの選択
S27	RS-485の終端抵抗ON/OFF
S29	同軸ケーブルのケーブル長による周波数特性補償の設定
S32	センサーポート8をアラーム出力に設定したいときON
S31	CAMERA CONTポート経由ファームウェアの書込み設定用　（通常OP側）
CN3	センサーポートの電源供給のジャンパ設定　（内部５V供給または外部供給）

（4）同軸ケーブル補償スイッチS29の設定

同軸ケーブル補償用スイッチS29は、カメラからの映像信号のケーブルによる減衰分を補正したいときに使用します。設定については下記の表を参考にしてください。ケーブルは5C-2Vケーブル使用時の参考値です。



S29	0m	200m	400m	800m	1200m
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
2	ON	ON	OFF	OFF	OFF
3	ON	ON	ON	OFF	OFF
4	ON	ON	ON	ON	OFF

2006-03-9498249 16/35 SI
OPC-30

2006-03-9498249 17/35 SI
OPC-30

５．設置要領

この機器を据え付ける場合は、お求めの販売店または専門の工事業者にご依頼ください。

５．１　機器の接続

５．１．１　OP-C30単体でご使用になる場合

（１）　同軸多重制御方式による接続

（ａ）接続方法

同軸多重制御対応のHC-350、HC-300などのカメラを接続する例です。

ドーム形雲台カメラ（ＨＣ-350 など）

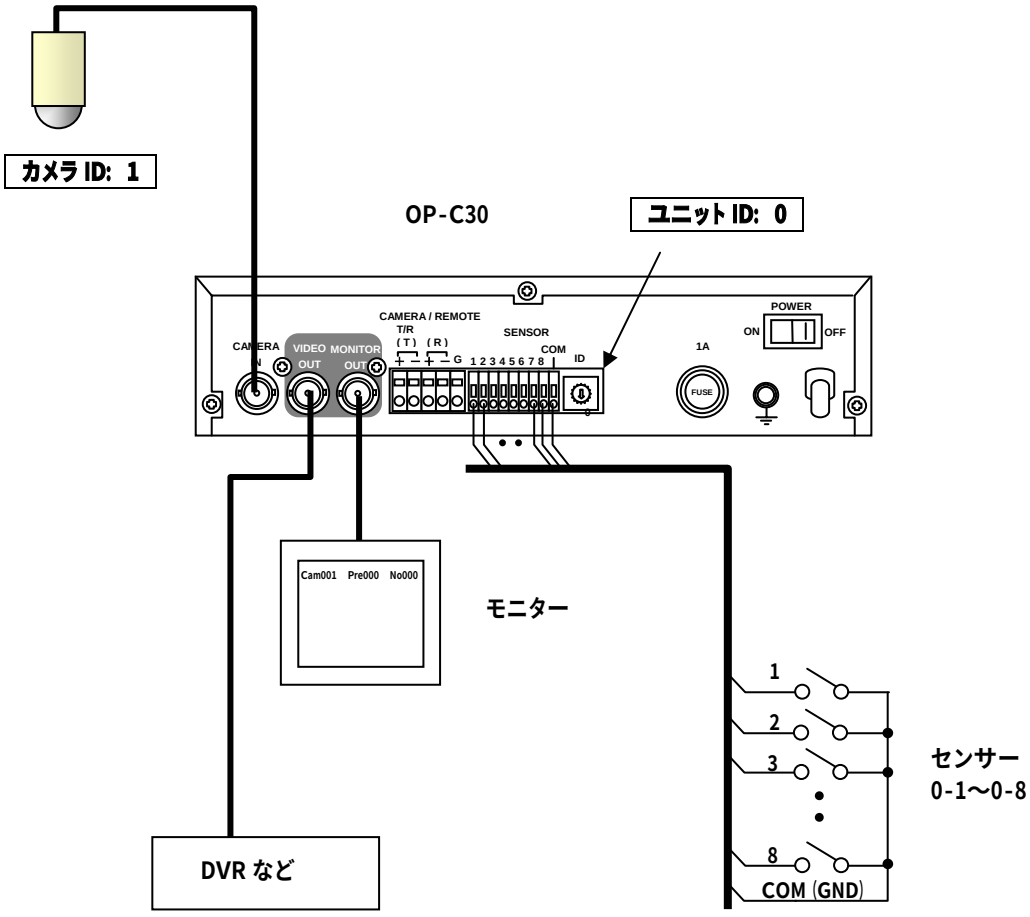


図 5-1

OP-C30のIDスイッチは必ず ”0” に設定してください。

カメラIDも必ず ”1” に設定してください。

（b）内部のスイッチ設定

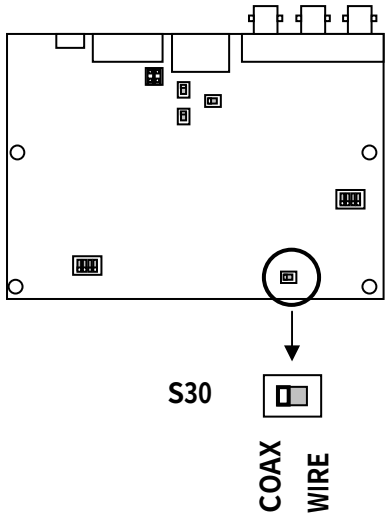
工場出荷時の設定は同軸多重制御に設定してありますので、図5-1の接続で動作します。万が一動作しない場合や設定を変更した場合は次のように設定されているか確認してください。

（c）同軸多重制御モードでのカメラ制御設定

同軸ケーブル上の映像信号に制御信号を重畳してカメラの制御を行います。

対応したドームカメラや一体型カメラと組み合わせて使用します。

S30	COAX
S28	485
S26	2W
S27	ON



S26～28の設定は無視されます。

2006-03-9498249 18/35 SI
OPC-30

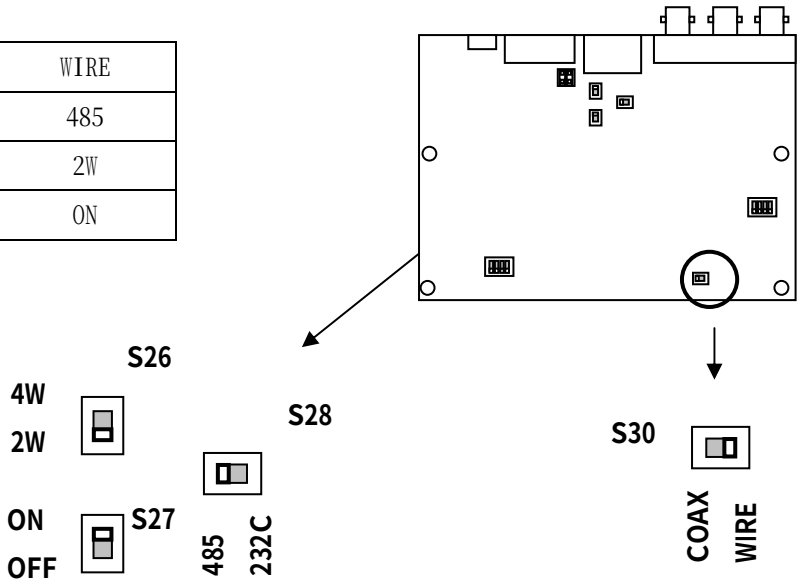
（2）シリアル通信での接続

同軸多重制御ができない機種や映像信号と制御信号を分離して伝送したい場合使用します。RS-485の2線式と4線式で制御可能で背面のCAMERA　CONT（カメラ制御）ポートを使用して接続します。

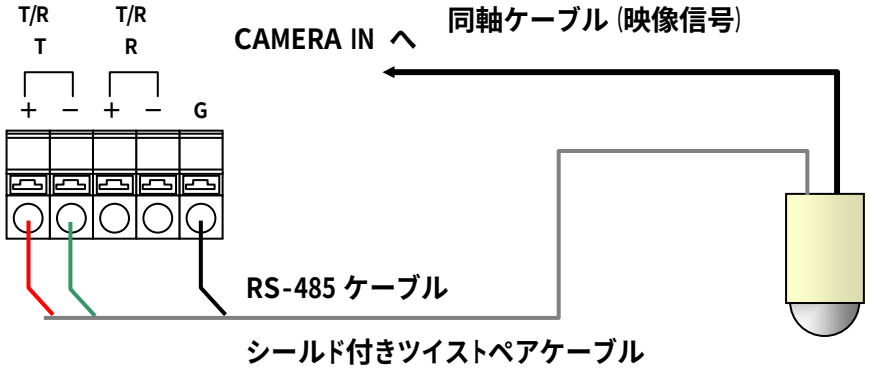
（a）RS-485（2線式）での接続

メイン基板上のスイッチを以下のように設定します。

S30	WIRE
S28	485
S26	2W
S27	ON



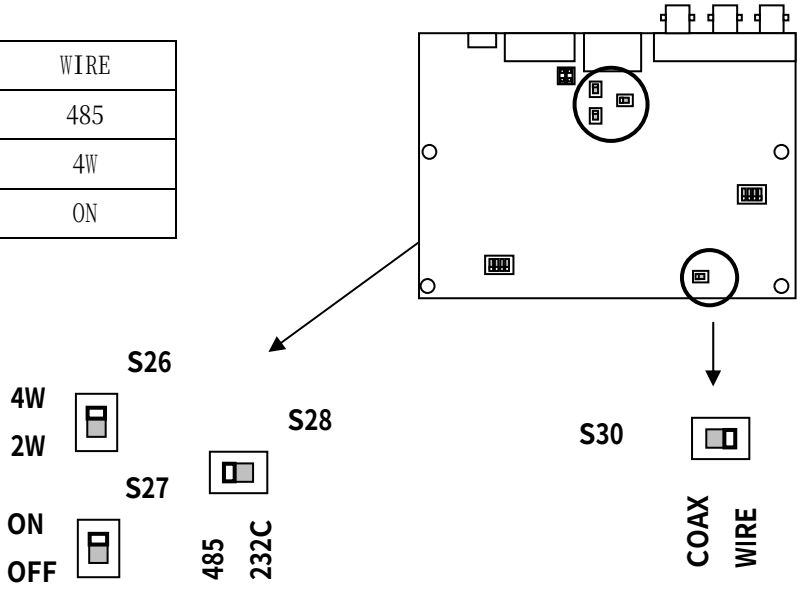
2006-03-9498249 19/35 SI
OPC-30

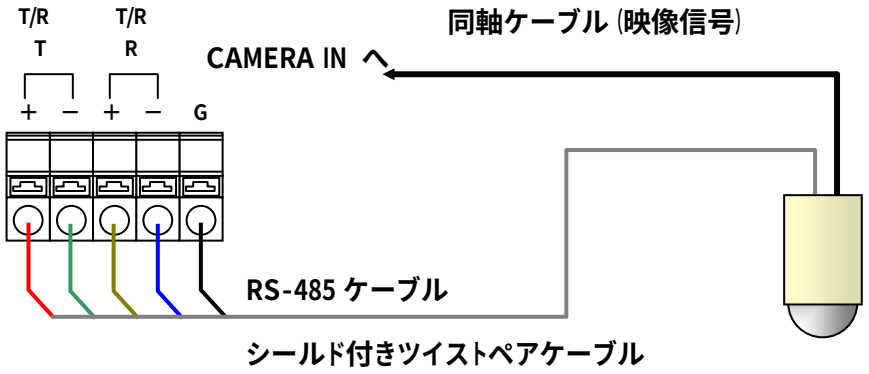


（b）RS-485（4線式）の接続

メイン基板上のスイッチを以下のように設定します。

S30	WIRE
S28	485
S26	4W
S27	ON



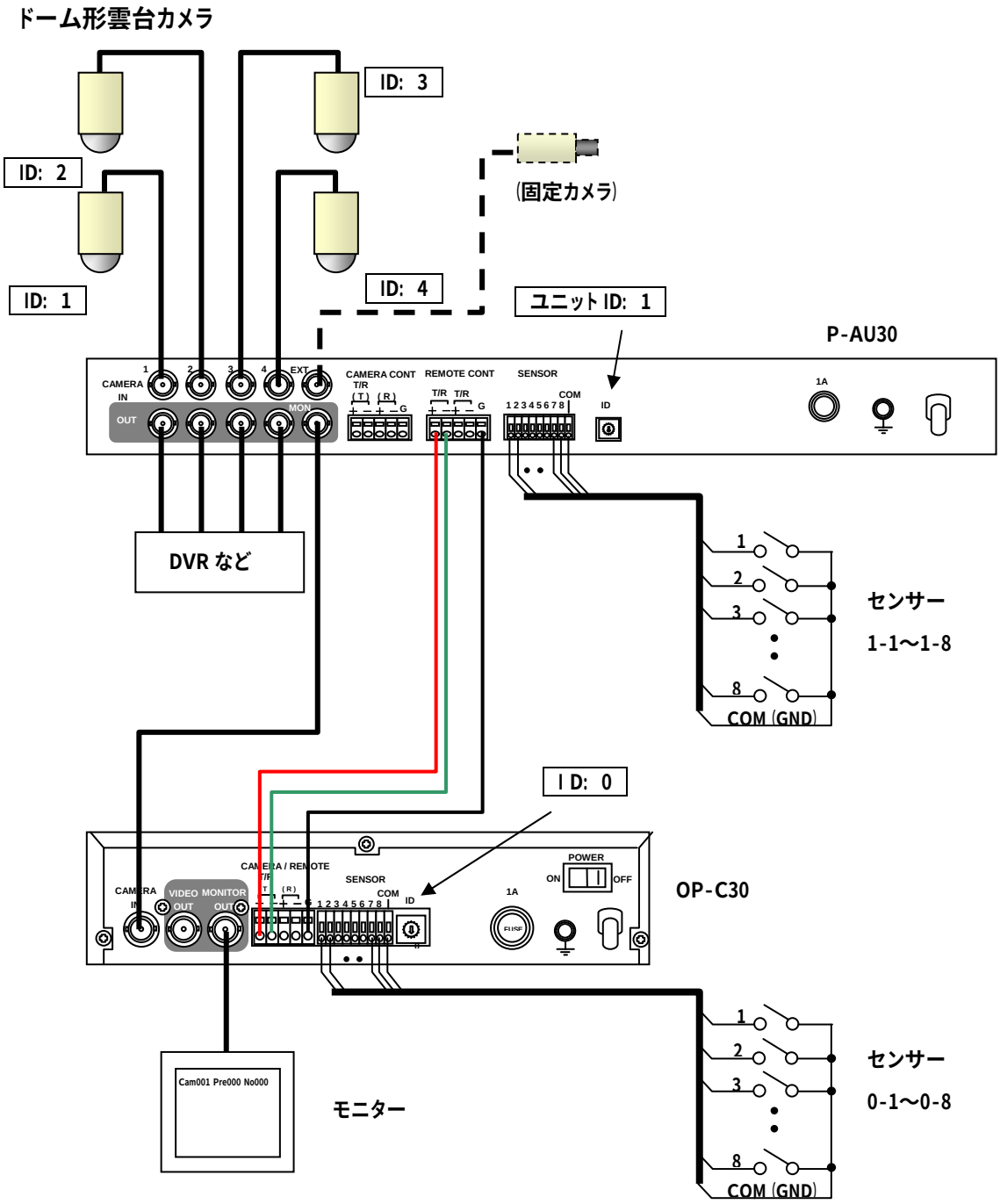


2006-03-9498249 20/35 SI
OPC-30

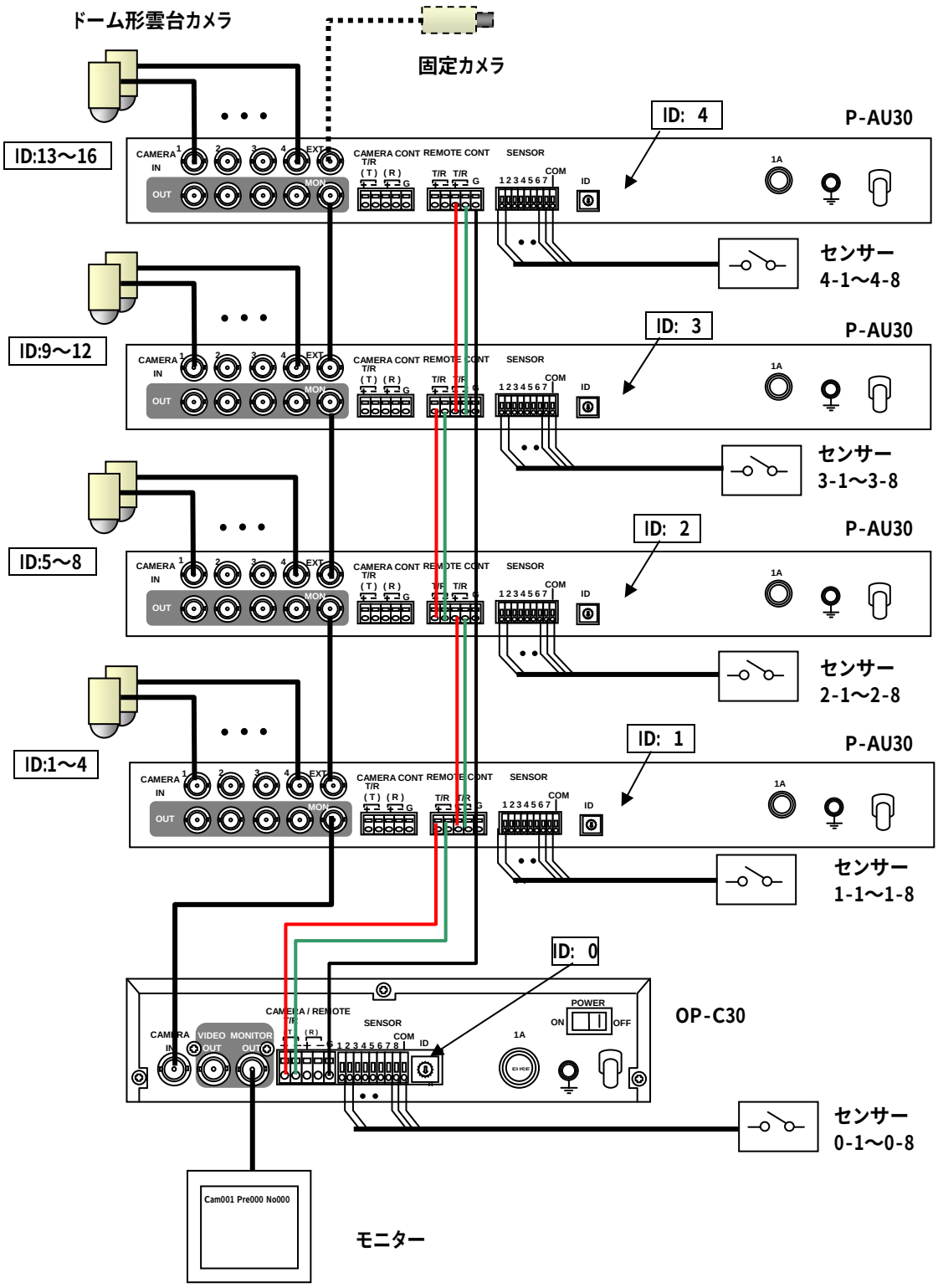
５．１．２　増設ユニットP-AU30と組み合わせてご使用になる場合

別売の増設ユニットP-AU30と組み合わせるとカメラ4台から16台までシステムを拡張することができます。増設ユニットP-AU30が1台につきカメラ4台で、P-AU30が4台でカメラ16台の接続が可能となります。

（１）ドーム雲台カメラ４台のシステム構成例



（２）ドーム雲台カメラ16台のシステム構成例



2006-03-9498249 21/35 SI
OPC-30

増設ユニットP-AU30の設定などの詳細はP-AU30の取扱説明書を参照ください。

５．１．２　接続カメラのメニュー設定

カメラを接続したらOP-C30の電源を投入し、全ての接続カメラの機種名やパン・チルトの回転スピードなどを設定予め設定する必要があります。6.2.2.項のSETTINGメニューを参照ください。

対応カメラ　（カッコ内は代用設定可能な機種です。）

（１）　ドーム型雲台カメラ

HC-350、HC330、HC-300（HC-310）

（２）　一体型雲台カメラ

HC-210A、HC-242（HC-241）、HC-20（RM-C200、HC-21、R-CR2）、EP-RC200

（３）　固定カメラ

KV-D61、KV-Hシリーズ

注意　**・接続カメラのカメラIDを必ず設定し、各カメラ入力に間違えないように接続してください。カメラ入力チャネルとカメラIDが合っていないと操作できません。**

・初めてカメラを接続するときは6.2.2.OSDメニューのカメラSETTINGを実行し使用カメラの機種、カメラスピードの設定を必ず行なってください。設定が合っていないとカメラが旋回しないなど正常に操作できないことがあります。

2006-03-9498249 22/35 SI
OPC-30

６．操作要領

６．１　操作概要

OP-C30のモニター出力にモニターを接続してください。OP-C30の設定や操作はこのモニター出力上のOSDを確認しながら行ないます。カメラ出力には文字の無いカメラのスルー映像が出力されますのでデジタルビデオレコーダー（DVR）などに接続して使用します。

また、増設ユニットP-AU30と組み合わせた場合もOP-C30でモニター出力上の表示を見ながら設定や操作行ないます。

（１）電動雲台カメラの操作

・ジョイスティックの上下左右でカメラの向きを制御します。

HC-350などジョイスティックの角度スピード制御に対応したカメラはジョイスティックの倒し角度によって3段階スピードが変化します。倒し角が小さいとスピードが遅く、深く倒すと速くなります。この3段階のスピードはメニュー内のSETTINGメニューで予め設定します。

HC-210Aなどジョイスティックの角度スピード制御に対応していないカメラはジョイスティックの倒すスピードによって3段階スピードが変化します。早く倒すとスピードが遅く、遅く倒すと速くなります。

HC-20やRM-C200などは速度は固定なのでジョイスティックの倒し方は関係なく速度は一定となります。

（２）電動レンズの操作

・ZOOM及びFOCUSスイッチで操作します

（３）操作カメラの選択（P-AU30と組合せ時）

・10キー ＋ CAMキーで選択したカメラ映像をモニター出力に出力します。

（４）プリセット操作

・10キー ＋ POSITIONスイッチでプリセット番号のポジションへカメラが旋回します。

（５）カメラシーケンスの実行

・メニュー内のSEQUECEメニューで設定し、メニュー内でSTART､STOPの制御を行ないます。

（６）照明の操作

・SHIFTキー ＋ LIGHTスイッチで制御します。

（７）ワイパーの操作

・SHIFTキー ＋ WIPERスイッチで制御します。

（８）外部機器の操作

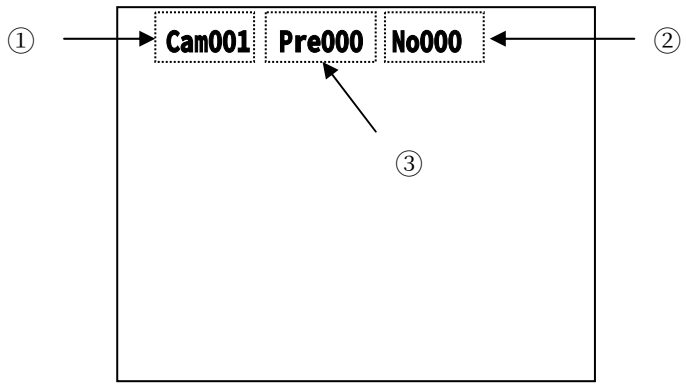
・SHIFTキー ＋ AUXスイッチで外部機器を動作させます。標準ではサポートしておりません。

2006-03-9498249 23/35 SI
OPC-30

６．２　モニター出力画面のＯＳＤ及びメニューの説明

モニター出力はプリセット制御やカメラの設定を行なうための、OSDが常に表示されています。必要に応じてメニューを表示し、カメラシーケンスやアラーム設定を行なうことができます。

６－２－１通常画面



① カメラ番号表示：　現在選択されたのカメラ番号が表示されます。(OP-C30単体では常に001を表示します)

② キー入力表示：　プリセット番号やカメラ番号指定のための10キー入力の入力数値が表示されます。ENTERキーを押した時点で消えます。

③ プリセット番号表示：入力されたプリセット番号が表示されます。プリセット入力+ENTERで表示され、何か他操作をすると表示は消えます。

６．２．１　　メニュー画面　OSD MENU

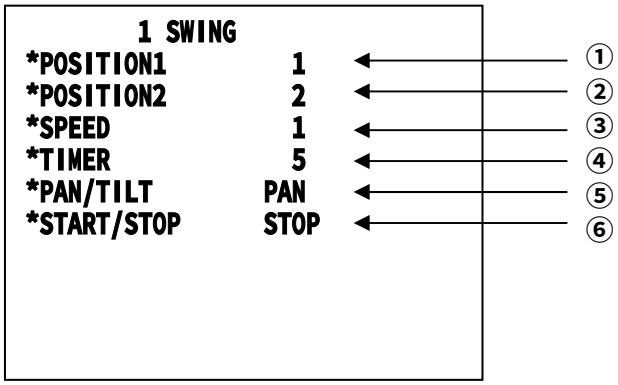
操作パネル上のMENUキーを押すとメインメニューが表示されます。

```
<OSD MENU>
1 SWING
2 SEQUENCE
3 CAMERA ALL
4 CAMERA SEQ
5 ALARM
6 LIGHT CONTROL
7 SETTING
8 END
```

メニュー内の操作はJOYスティック↑↓でメニューを選択し、ENTER（CAM）キーを押すとサブメニューに入ることができます。メインメニュー画面から通常画面に戻すには、8 ENDを選択しENTERキーを押すか、MENUキーを再度押すと戻ることができます。サブメニューから戻るにはECP（CLR）キーを押すと上の階層へ戻ることができます。サブメニューの階層によっては複数回押す必要があります。

（１） スウィングの設定　SWING

予め設定したプリセットポジションの任意の2つのポジション間を水平方向または垂直方向の何れかのほうこうで往復動作を繰り返します。



①POSITION1：　スウィング開始点のプリセット番号をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

②POSITION２：　スウィング終点のプリセット番号をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

③SPEED：　スウィングの回転スピードをジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

④PAN/TILT：　スウィングの方向PAN・TILTをジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。PANを選択すると2つプリセットポジション間の水平方向の往復を行い、TILTに設定すると上下方向の往復を繰り返します。

⑤START/STOP：　STARTを選択し、ENTERでスウィング動作を開始します。　STOP を 選択しENTERでスウィング動作を停止します。

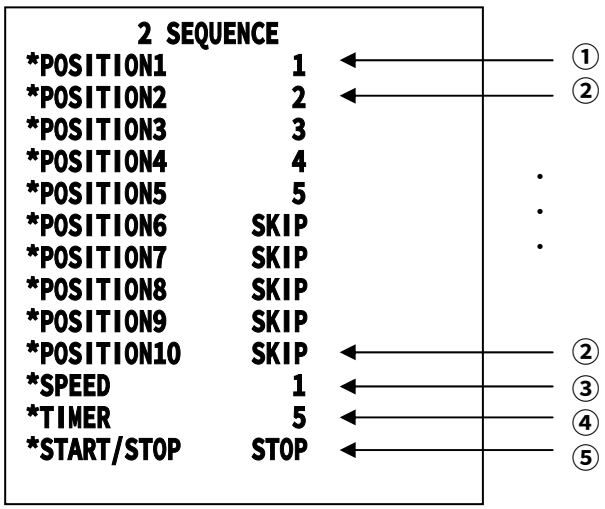
またスウィング動作中の通常表示状態でジョイスティックの操作など他の操作を行なうとスウィング動作を停止し、その操作に応じた動作をします。

（2） プリセットシーケンスの設定 SEQUENCE

予め設定したプリセットポジションの任意のポジションを順番に切り換えて移動していきます。

P-AU30との組み合わせでは現在選択しているカメラについて設定を行ないます。

2006-03-9498249 25/35 SI
OPC-30



①POSITION1：　1番目のプリセット点のプリセット番号をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

②POSITIONｎ：　ｎ番目点のプリセット番号をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。SKIPを選択するとそのポジションは飛ばし、次のポジションへ向かいます。

③SPEED：　移動速度をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

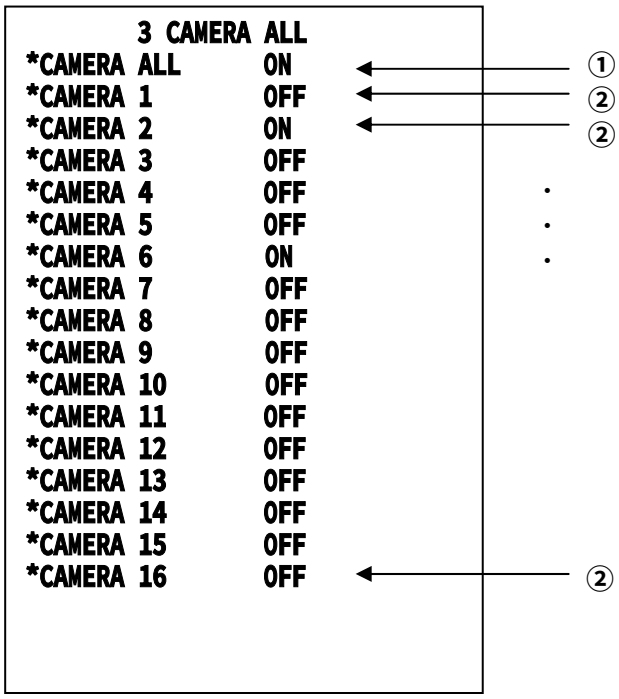
④TIMER：　　次のプリセットポジションへの切り換え時間間隔を入力します。ジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

⑤START/STOP：　　STARTを選択し、ENTERでシーケンス動作を開始します。
またSTOPを選択し、ENTERでシーケンス動作を停止します。
シーケンス動作中の通常表示状態でジョイスティックの操作など他の操作を行なうとシーケンス動作を停止し、その操作に応じた動作をします。

（３） カメラオール（一斉動作）の設定 CAMERA ALL （P-AU30との組合せ時のみ有効です）

接続した複数のカメラのワイパーと照明を一斉に動作させたい場合に使用します。

OP-C30の場合はカメラ1台となりますので設定しても無効となります。



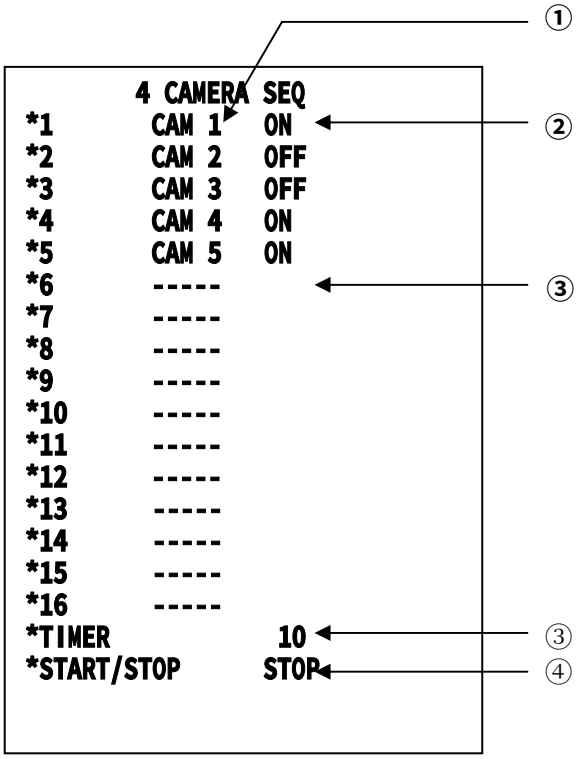
①CAMERA　ALL：　　ワイパー・照明の一斉動作の有効・無効のON/OFFをジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

②CAMERA　ｎ：　　ｎチャネルのカメラの一斉動作ON/OFFをジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。ONしているカメラのみワイパー・照明スイッチの操作で一斉動作します。

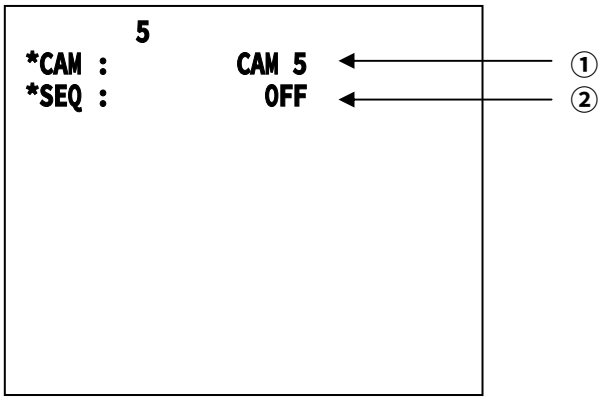
2006-03-9498249 26/35 SI
OPC-30

（４）カメラシーケンスの設定　（P-AU30との組合せ時のみ有効です）

各カメラごとに設定したプリセットシーケンスをカメラを切り換えながら順番に実行していきます。16ステップの切り換え順序を設定できます。



サブメニュー



ステップ1～16を選択しENTERでサブメニューに入ります。

①CAMｎ：　カメラシーケンスをしたいカメラ番号をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。－－－－－を選択するとそのステップは飛ばします。

2006-03-9498249 27/35 SI
OPC-30

②ON/OFF：　①で選んだカメラに登録されたプリセットシーケンスを実行する場合はON、プリセットシーケンスせずに映像を表示するだけの場合はOFFをジョイスティックの左右で選択し、ENTERで設定します。

③TIMER：　各ステップの時間間隔をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

④START/STOP：　STARTを選択し、ENTERでシーケンス動作を開始します。　また STOPを選択し、ENTERでシーケンス動作を停止します。

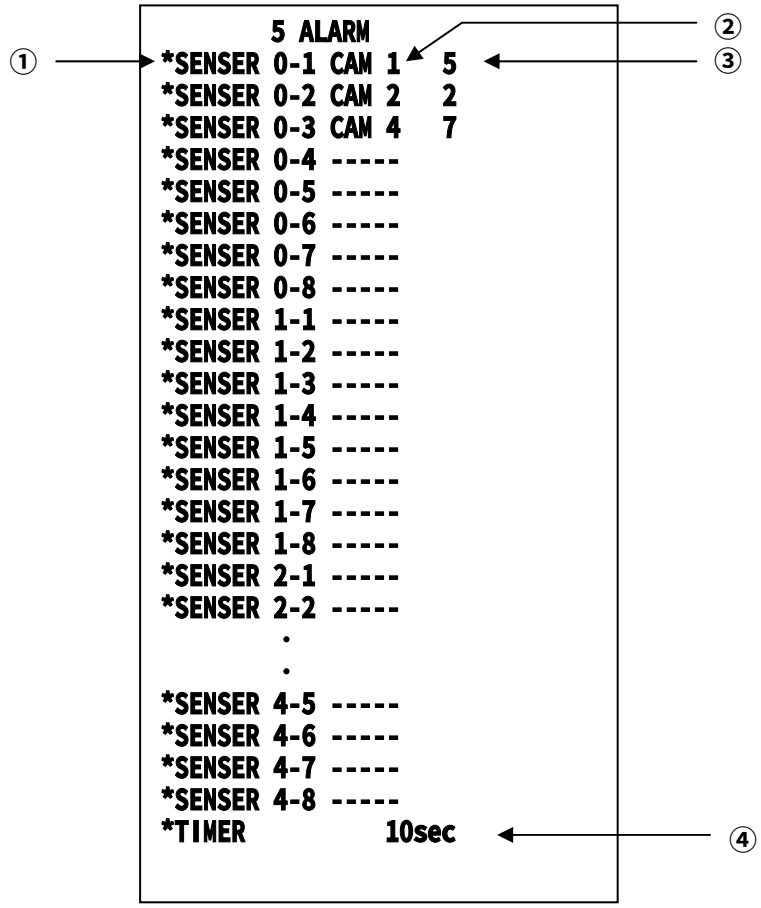
またシーケンス動作中の通常表示状態でジョイスティックの操作など他の操作を行なうとシーケンス動作を停止し、その操作に応じた動作をします。

（５） アラームの設定 ALARM

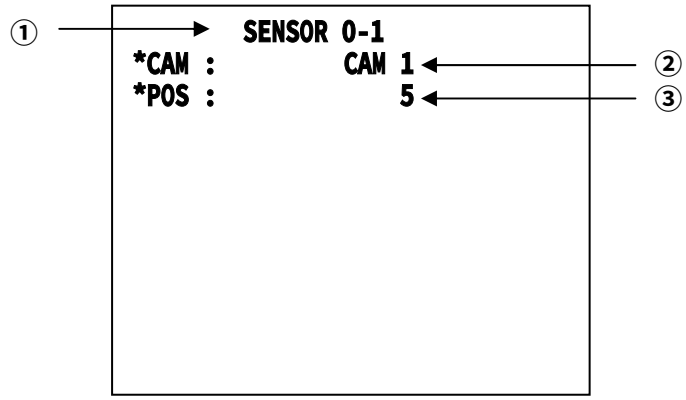
操作器背面にある8つのセンサーポートに接続にセンサーを接続します。　ONを検出したセンサーポートごとに指定したカメラを指定したプリセットポジションへ向けることができます。

OP-C30単体では0-1～0-8の8ポートですが、増設ユニットP-AU30を追加すると8ポートずつ1-1～1-8、 2-1～2-8、3-1～3-8、4-1～4-8と最大40点まで設定できます。

2006-03-9498249 28/35 SI
OPC-30



サブメニュー



SENSOR　n-mを選択しENTERでサブメニューに入ります。

①SENSOR　n-m　：　センサーポートの番号です。

n：	OP-C30のポート	0
	1台目のP-AU30	1
	2台目のP-AU30	2
	3台目のP-AU30	3
	～	
	8台目のP-AU30	8
m：	ポートの番号	

②CAM　n：　センサー発報時プリセット動作させたいカメラ番号をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。

③POS：　センサー発報時に移動させたいプリセット番号を指定します。

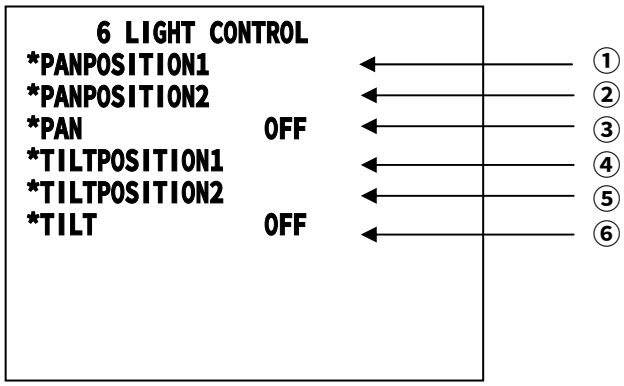
④TIMER：　センサー発報時プリセット動作し、ここで設定した時間経過後、ホームポジション（プリセットポジション0）へ自動的に戻ります。
時間をジョイスティックの左右で選択し、ENTERで確定します。
ホームポジションは予めホームにしたいカメラポジションを決め、
0キー　+　MEMORYキーで登録しておく必要があります。
時間をOFFに設定すると操作パネル上のALARM　RESETキーを押すまではそのポジションを向いたままになります。　ALARM　RESETキーを押すとホームポジションに戻ります。

2006-03-9498249 29/35 SI
OPC-30

（６） 照明制御の設定 LIGHT CONTROL

照明点灯範囲を設定し、プライバシーの問題等で指定範囲外では照明を点灯できないように設定できます。

予め設定したいカメラを選択しておきます。(OP-C30は不要)



2006-03-9498249 30/35 SI
OPC-30

①PANPOSITION１　水平方向点灯範囲右端のカメラポジションを設定します。　ジョイスティック左右でカメラを回転させ、ENTERキーで確定します。

②PANPOSITIOＮ２　水平方向点灯範囲左端のカメラポジションを設定します。　ジョイスティック左右でカメラを回転させ、ENTERキーで確定します。

③PAN　水平方向点灯範囲有効・無効の設定をします。ジョイスティック左右でON・OFFを選択、ENTERキーで確定します。

④TILTPOSITION１　垂直方向点灯範囲上端のカメラポジションを設定します。　ジョイスティック左右でカメラを回転させ、ENTERキーで確定します。

⑤TILTPOSITIOＮ２　垂直方向点灯範囲下端のカメラポジションを設定します。　ジョイスティック左右でカメラを回転させ、ENTERキーで確定します。

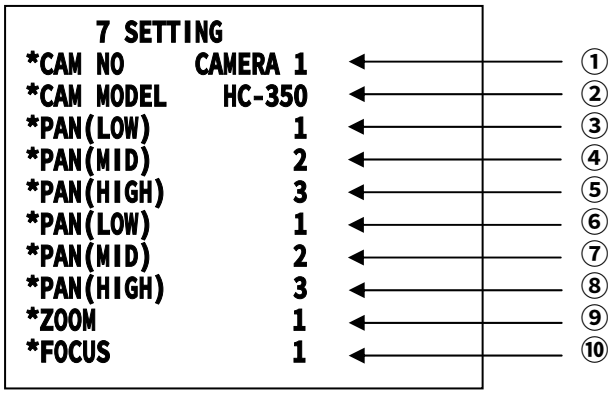
⑥TILT　垂直方向点灯範囲有効・無効の設定をします。ジョイスティック左右でON ・OFFを選択、ENTERキーで確定します。

③PAN、⑥TILTをONに設定するとメニューを抜け、通常動作モードでSHIFT＋LIGHTをONにすると、水平・垂直の指定された範囲のみ照明が点灯し、範囲外では自動的に消灯するように設定できます。本設定の解除を行なうには再び本メニュー内で③PAN、⑥TILTをOFFに設定する必要があります。

（７） 接続カメラの設定 SETTING

接続するカメラの機種・スピードなどを設定します。OP-C30は接続カメラは1台（CAMERA1）だけですが、P-AU30によりカメラを増設する場合は全てのカメラについて設定する必要があります。

注意　カメラを新規に接続したときは必ず本設定が必要です。カメラの機種が違っていたり、スピードの設定が違っているとカメラが正常に制御できない場合があります。
工場出荷時に設定機種はHC-350ドーム型カメラです。



2006-03-9498249 31/35 SI
OPC-30

①CAM　NO　　設定するカメラ番号を選択します。ジョイスティック左右でCAMERA　1～16を選択、ENTERキーで確定します。OP-C30ではCAMERA2～16を選択しても無効となります。必ずCAMERA1を選択してください。

②CAM　MODEL　　接続するカメラの機種名を設定します。ジョイスティック左右で機種を選択し、ENTERキーで確定します。

NO　CAM：　カメラを接続しないとき設定します。

CAMERA：　固定カメラなど制御を必要としないカメラを接続時選択します。該当するカメラが無い場合、HC-210Aに設定してください。

③PAN（LOW）　水平方向の３段階の回転スピード中、低速スピードを設定をします。ジョイスティック左右でスピード値を選択、ENTERキーで確定します。接続するカメラによってスピード設定値の範囲が変わります。（例：HC-350は1～64、HC-210Aは1～3）

④PAN（MID）　水平方向の３段階の回転スピード中、中速スピードを設定をします。ジョイスティック左右でスピード値を選択、ENTERキーで確定します。

⑤PAN（HIGH）　水平方向の３段階の回転スピード中、高速スピードを設定をします。ジョイスティック左右でスピード値を選択、ENTERキーで確定します。

⑥TILT（LOW）　垂直方向の３段階の回転スピード中、低速スピードを設定をします。ジョイスティック左右でスピード値を選択、ENTERキーで確定します。接続するカメラによってスピード設定値の範囲が変わります。（例：HC-350は1～64、HC-210Aは1～3）

⑦TILT（MID）　垂直方向の３段階の回転スピード中、中速スピードを設定をします。ジョイスティック左右でスピード値を選択、ENTERキーで確定します。

⑧TILT（HIGH）　垂直方向の３段階の回転スピード中、高速スピードを設定をします。ジョイスティック左右でスピード値を選択、ENTERキーで確定します。

⑨ZOOM　ズームレンズの望遠・広角の変化スピードを設定をします。ジョイスティック左右でスピード値を選択、ENTERキーで確定します。接続するカメラによってスピード設定値の範囲が変わります。

⑩FOCUS　レンズの遠・近広角のフォーカすスピードを設定をします。ジョイスティック左右でスピード値を選択、ENTERキーで確定します。接続するカメラによってスピード設定値の範囲が変わります。

2006-03-9498249 32/35 SI
OPC-30

７．仕様

（１）	接続カメラ	HC-350形電動ドームカメラ、その他同軸多重制御に対応の指定機種（HC-240の同軸多重には非対応）
（２）	カメラ接続台数	１台
（３）	カメラ制御台数	１台
（４）	マニュアル制御項目	雲台部　水平方向（左、右)、垂直方向（上、下） レンズ　ズーム（広角、望遠)、フォーカス（遠、近） カメライニシャライズ プリセット位置登録 プリセット位置選択 内蔵カメラの各種メニュー設定（OSDによる） ワイパー制御　：　ON/OFF 照明制御　：　ON/OFF アラーム解除（自動解除も可。メニュー選択による。）
（５）	設定可能プリセットポジション数	0～255　設定可　（0はホームポジション、最大プリセットポジション数は接続するカメラにより変わります）
（６）	プリセット制御項目	雲台：　水平方向　（左、右） 垂直方向　（上、下） レンズ：ズーム　（広角、望遠） フォーカス　（遠、近）
（７）	映像入力	カメラ入力：　VBS　1Vp-p/75Ω BNC形 １ｃｈ　（制御信号多重）
（８）	映像出力	カメラ出力：　VBS　1Vp-p/75Ω BNC形 １ｃｈ　（制御信号除去、OSD表示なし） モニター出力：　VBS　1Vp-p/75Ω BNC形 １ｃｈ　（制御信号除去、OSD表示あり）
（９）	OSDの表示内容	制御メニュー、プリセットポジション番号 、エラーメッセージ、その他
(10)	制御信号伝送方式	映像多重変調方式 搬送波周波数　：　操作器→カメラ　9.0MHｚ カメラ→操作器　7.02MHｚ またはRS-485相当（マルチドロップ方式） カメラ制御端子板による 転送方式　：　調歩同期式シリアルインタフェース 送信方式　：　半二重 転送速度　：　9600ｂｐｓ

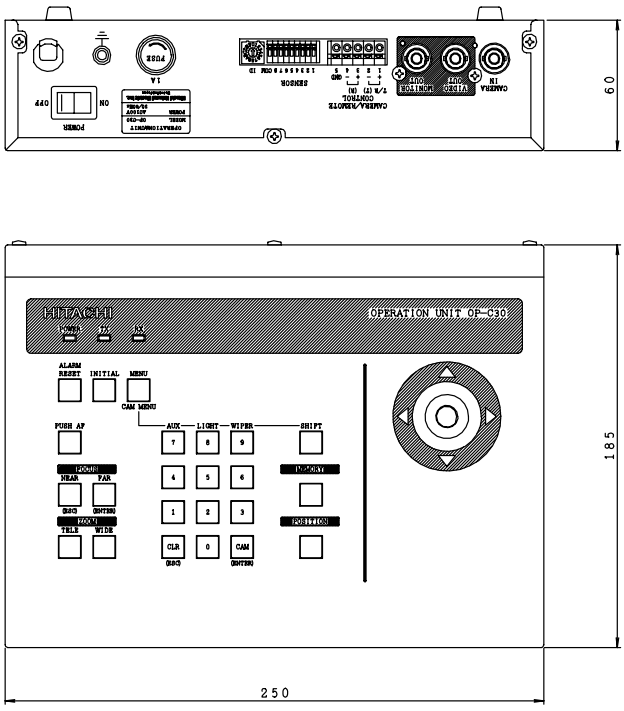
2006-03-9498249 33/35 SI
OPC-30

(11)	制御信号伝送距離 （実用距離）	映像多重変調方式選定時 5C-2V　：　最長1200m 3C-2V　：　最長400m RS-485選定時 100Ωシールド付ツイストペア線 ：　最長1200m
(12)	ケーブル補償	カメラと操作器間のケーブル長に合わせ映像信号の補償値を設定 5C-2V　：　200m，400m，800m，1200mを補償
(13)	シリアルカメラコントロール兼リモートコントロールポート	RS-485制御のカメラとの接続及び増設ユニットP-AU30との接続用に使用 RS-485（2/4線式）
(14)	アラーム入力	8ポート 入力信号　：　無電圧接点又はＴＴＬ信号、フォトカップラ受け
(15)	電源電圧	AC100　+10%，-12%　50/60Hz
(16)	消費電力	約4.5W
(17)	周囲温湿度	0～40℃　35～80%　ＲＨ
(18)	外形寸法	250（W）×60（H）×185（D）mm　（B5サイズ）
(19)	質量	約 1.7　ｋｇ
(20)	塗装色	前面パネル、カバー：　マンセル5Y7/１　半つや 印刷色　1色　：　DIC545

本仕様は改良等の理由により予告なく変更する事があります。

2006-03-9498249 34/35 SI
OPC-30

8．外形寸法



質 量　　：約 1.7kg
塗装色　　：マンセル 5Y7/1 半つや
単 位　　：mm

2006-03-9498249 35/35 SI
OPC-30